

船舶事故等調査報告書

平成26年2月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013広第196号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成25年10月1日 14時25分ごろ
発生場所	山口県周防大島町戸田沖 周防大島町所在の下荷内島灯台から真方位012°4,300m付近 (概位 北緯33°53.1′ 東経132°11.5′)
事故等調査の経過	平成25年11月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	作業船 ^{きゅうしょう} 久祥、4トン
船舶番号、船舶所有者等	291-26664広島、親力海運株式会社
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	船底に破口
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、船首約0.5m、船尾約1.5mの喫水により、押船が押すガットバージを岩場に係留するため、周防大島町戸田に所在する干出浜の岩場（以下「本件岩場」という。）に向かって北進中、本件岩場に接近したので、船長が、本件岩場に飛び移るために操縦ハンドルを離し、船首部で係留索を手に持って本件岩場への接近を待っていたところ、南の風及び潮に圧流され、平成25年10月1日14時25分ごろ同干出浜に乗り揚げた。 船長は、調査をしたところ、機関室に浸水を認めたので、ガットバージに戻り、油の流出を防ぐためにガットバージのクレーンにより、本船をガットバージの倉内に引き揚げた。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南東、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の初期
その他の事項	ガットバージを押していた押船には、船団長として船長1人が乗り組み、ガットバージのクレーン操作を行い、作業員2人が作業に当たっていた。 船長、船団長及び作業員は、全員が膨脹式作業用救命衣を着用していた。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	あり

<p>判明した事項の解析</p>	<p>本船は、周防大島町戸田沖でガットバージの綱取り作業中、船長が本件岩場に係留索を取ろうとして船首部に向かったことから、風及び潮に圧流され、戸田の干出浜に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、周防大島町戸田沖でガットバージの綱取り作業中、船長が本件岩場に係留索を取ろうとして船首部に向かったため、風及び潮に圧流され、戸田の干出浜に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船長は、干出浜に接近して作業を行う場合、操船に専念できるよう2人以上で作業を行うこと。